



西幼だより

令和8年9月25日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね！



(西幼稚園 HP)

次のステップへ！ サマーデーのその後・・・

園長 渡邊 舞

1学期の終わり、西幼稚園の夏祭りのサマーデーでは、お家の方たちがお客さんになって楽しんでくださったおかげで、子どもたちのお店は大盛況でした。ジュース屋さん、バーベキュー屋さん、くじ屋さん、つり屋さん、コロコロゲーム屋さんなど、普段の遊びからうまれたお店には、子どもたちなりのこだわりもつまっていて、とても楽しいお店ばかりでした。1学期の終業式の日、子どもたちは「お客さん(お家の方たち)がいっぱい来てくれて楽しかった」「また夏休みが終わったらお祭りをしたい」と言っていました。そこで、夏休みの間もお店はそのままにしておくことにしました。そんな中、8月のある日頃頃から連携している西内野小学校の先生との打ち合わせがあり、子どもたちのお祭りのお店を見ていただく機会がありました。サマーデーの様子についてお伝えすると、子どもたちの作ったものを手にとり、幼稚園の子どもたちの様子について大変関心をもって聴いてくださいました。



7月のサマーデー。お家の方がお客さん



小学生、まだかな、まだかな・・・

さて、2学期になり、子どもたちは早速お店屋さんで遊び始めました。しかし、お互いにお客さんになるものの、子どもたちからは、誰かお客さんとして来てもらいたいという思いがあることを私たちは感じ取りました。そこで、西内野小学校の校長先生に相談してみました。数日後「5年生と1年生が行きます」というお返事をいただいたのです。しかも5年生は全クラスが来てくれることになり、子どもたちに伝えると「やった～！」と大喜びでした。夏休みに小学校の先生が子どもたちの作ったお店を実際に見てくださり、きっと小学生の経験にもつながると考えてくださったようで、私たちはよりうれしい気持ちになったと同時に、子どもたちの経験につながる大切な出会いにしようと思いました。

5年生が来てくれる朝は、子どもたちはベランダに出て「まだかな」「もうすぐ来る？」とソワソワ、ワクワクしていました。担任から声を掛けられなくても、お店の商品をきれいに並べたり「いらっしゃいませ～」と自主的に声出しを始める子もいました。そしていよいよ小学生が来ると、子どもたちは、とびきりの声で「いらっしゃいませ～！」と歓迎しました。「100円です」「当たりが出たので好きな物(景品)をどうぞ」「トウモロコシはよく焼きますか？」などいつも以上に積極的に声を出し、そこはもう活気あふれる本物のお祭り会場のようでした。年中組のお友達が「すみません、ジュース売り切れたんです」と言うのと「あ～ジュース飲みたかったなあ」と心から残念そうにする5年生。その姿を見て「少しお待ちください。今ジュースを作りますね」と急遽ジュースの補充を始める姿がありました。その間、5年生はニコニコしながら「早く飲みたいなあ」と言い



どのジュースにしますか？(5年生がお客さん)

ながらジュースができるのを待っていてくれました。幼稚園のお友達は、5年生が心から楽しんでくれる様子を感じ、お客さんにもっと喜んでもらおう、もっと楽しんでもらいたい、と相手を想いながら自分なりに考えてお店屋さんになる姿が見られていきました。担任たちのフォローはそこには一切、必要ありませんでした。自分たちを受け入れ、共に楽しんでくれる小学生とのかかわりは安心感に包まれ、いきいきと自分のやりたいことに取り組む姿へとつながっていったのでした。

お祭りの最後に、5年生から感想を言ってもらう時間がありました。「僕たちをこんなに楽しい気持ちにしてくれて、幼稚園のみんなはすごいなと思いました」「本当に楽しかったです。クオリティーが高いと思いました」…5年生の言葉からは、イメージしていた幼稚園の子どもたちの姿とは違った、と感じていることが伺えました。5年生の言葉をしっかりと聴いていた幼稚園のみんなはとても満足そうで誇らしげな表情を浮かべていました。そして、5年生に向け、幼稚園のみんなからは「お客さんがいっぱい来てくれてうれしかったです」「ジュースが売り切れてうれしかった」「一緒にお祭りができて楽しかった」としっかりとした言葉で感想を伝えていました。

西幼稚園の子どもたちにとって、新たな人との出会い、共に楽しんでくれて、認めてもらった経験により、また一つ新しい世界が開けたように思います。来てくれた5年生にとっても、「幼稚園のみんなはこんなことができるんだ」という新たな発見があったようです。慣れ親しんだ環境や人、もの、ことの中では、もちろん、安心感に包まれ、安定した時間が確実に流れます。しかし、そこに留まっていることは、次へのステップにつながりません。そこから一步、子どもたちが経験を積み、自信をつけ、新たな世界を広げていくために、子どもたちが主体的に、人、もの、ことと出会い、かかわる状況や環境をつくり、保障するのは、私たちです。これからも子どもに寄り添いながら、次のステップにつながるために創意工夫を行っていきます。さて、自分たちの「やってみたい」を実現させてきた子どもたちは、運動会ではどんな姿を見せてくれるでしょう。子どもたちの小さなステップを大切にしながら10月3日の運動会を迎えたいと思います。



*西幼稚園と西内野小学校では、子どもを真ん中にした幼小連携を行っています。「安心と創造」をテーマに幼小合同研修を行うなど、互いの教育について理解を深めています。安心を土台にし、創造する力を育てていくことを目指し、幼小の子ども同士交流も必要感に応じて取り入れながら、引き続き連携を進めていきます。